

2 世界自然遺産 白神山地

1 白神山地ってどこ？

白神山地は秋田県と青森県にまたがって、能代市の北の方向にそびえて見える山地です。春先の田んぼの雪が消えても、この白神山地のいただきには真っ白い雪が残っています。

白神山地は能代から見えるほかに、あの山なみが東のほうに42kmも続いています。いちばん高い山は1243mもあり、向白神岳といわれています。

能代市の一部も白神山地に入ってい

ますが、遺産地域にはなっておりません。しかし、遺産地域と同じ自然が、能代市の常盤川上流に残っています。

2 世界遺産ってなに？

ずっとずっと前にエジプトの国で、ナイル川にダムをつくることにしました。そのため、大昔につくられた神殿などのすばらしい遺産がダムにしずん



白神山地と遺産地域、能代市の位置をあらわす

でしまうことになりました。その話を聞いて何とか遺跡を助けたいという考えがもち上がり、ユネスコが先頭にたつて、その遺跡をそっくり別の場所につつしました。

その成功を見て、「世界にはまだこのような大切な宝物がたくさんあるのにそのままにしておけば宝物を失ってしまう。これは、協力し合って残すようにしようではないか。」ということになり「世界遺産に登録する制度」ができあがりました。白神山地は1993年に登録されました。

3 白神山地の特色は？

人の手がほとんど加えられていない自然、これが高く評価されました。山々はブナやダケカンバなどの森林でおおわれ、そこにはツキノワグマをはじめニホンザル、クマゲラ、イヌワシなどいろいろな動物たちが生活しています。このような森林は世界的にもめずらしく、とても大切であるということで世界遺産になりました。

わたしたちはこの遺産を手つかずに未来の全地球人に残しておきたいという気持ちでいっぱいです。しかし、よく考えてみるとこの「手つかずで残

す」ということは、口でいうほど簡単ではありません。

むずかしいわけの一番目は、わずかの人々ではありますが、ここを生活の場にしている人々がいることです。その人たちの事も考えていかなければなりません。

その二番目は、遺産地域を見学したいという人々の願いをどうかなえていくか、という問題で、同じ世界遺産である法隆寺などは案内人が案内して歩けば良いのですが、白神山地の場合はそのわけにはいきません。

それは、「人の手がほとんど加えられていない自然」で価値があるということですから、その場所に人がどんどん入ると、その価値がうすらいでいきます。つまり、遺産としてみとめられなくなるのです。

幸い、いろいろな団体や、国をはじめ、県、市町村でも遺産を守ろうと努力しています。人々のちえを出し合い良い方法を考え、実行してほしいと願っています。



焼山（常盤川上流）付近のブナ林